

みんなの広場における講話要旨

日 時 令和4年9月22日（木）

8時00分～8時10分

場 所 浜中町立茶内小学校体育館

おはようございます。

今日は、校長先生にとって、とても嬉しかったお話を皆さんに紹介します。

その後、「返事や挨拶」について、お話しますね。

最初に、とても嬉しかったお話です。

9日（金）に、「学校運営協議会」という会議があり、茶内中学校の校長先生や教頭先生、PTA会長さん、地域の方々、20人ほどが茶内小学校に集まりました。

会議が始まる前に、ある地域の方が、こんなことを校長先生に教えてくれました。

その方は、毎朝、車で通勤していて、ちょうど通勤する時間が、皆さんの登校時間と重なるそうです。

ある朝、交差点に差し掛かると、小学生がいたので、車を止めて、「先に渡って」という合図を送ったそうです。

すると、その小学生は会釈をして道路を渡り、渡り終わった後、立ち止まって、改めて、その方に会釈したそうです。

その方は、その小学生の姿勢に、とても感激して、その日一日をととても幸せな気持ちで過ごしたそうです。

この話を聞かせてもらって、校長先生もとても幸せな気持ちになりました。

皆さんが、日常的にしている「返事や挨拶」について、改めて考えてみたいと思います。

返事や挨拶は、誰のためにするのでしょうか。

皆さんは、どう思いますか。

返事や挨拶は、相手の人に向かってするものですから、相手の人のためにすると思うかもしれません。

でも、校長先生は、相手のためにするのはもちろんですが、自分のためにもするのではないかと思っています。

なぜなら、気持ちのこもった返事や挨拶ができると、まず自分が気持ちいいからです。

また、相手の人や周りの人が、自分を認めてくれ、高く評価してくれるからです。このように、自分にとってもいいことがたくさんあると思います。

こんなお話を聞いたことがあります。

大阪の中学校で、当時、第3学年の担任をされていた原田隆史（はらだ・たかし）先生という方がいました。

担任していた生徒の中に、家庭の事情でどうしても進学せずに就職して働かなくてはならない生徒がいました。

原田先生は、何とかこの生徒を就職させてあげたいと考え、あることをしたそうです。

何だと思いませんか。

ひたすら、「はい」という返事だけを練習させたそうです。

それも、1000回もです。

そして、原田先生は就職のための面接にも同行し、面接担当の方に、はじめに生徒の名前を呼んでほしいとお願いしたそうです。

名前を呼ばれると、その生徒は胸のすくような気持ちのよい返事をしました。

その返事を聞いて、担当の方はとても感心し、その生徒を採用したのだそうです。

この生徒は、返事だけで働く場所を手に入れました。

このように、返事一つがその人の人生を変えることがあるくらい、返事や挨拶というのは大事なものです。

ですから、小学生のうちに気持ちのよい返事や挨拶を身に付けたとしたら、それはこれからずっと、皆さんの財産となって、皆さんを助けてくれると思います。

中学校でも高校でも職場でも、返事が素晴らしい、挨拶が立派だと言われるのです。

返事や挨拶は、相手のためでもあり自分のためでもあると思って、気持ちのよい返事、挨拶を心掛けてみませんか。